

9月21日 | やさしい心が育つまち

動物愛護週間に合わせて「動物愛護フェスティバル静岡2014」（県動物保護協会主催）が開催されました。

中央小公園では、ボランティア団体や学校、飲食店など26団体が参加し、災害救助犬・盲導犬などの模範演技や動物クイズなど、さまざまなイベントが催されました。またプラザおおりでは、動物愛護絵画・作文コンクールの表彰式と優秀作品の展示などが行われました。



9月28日 | 歩いて獲得「健康ポイント」

「しまだ健康マイレージ事業」のスタートを記念して、オープニングイベント「ウォークラリー」が開催されました。

心地よい汗をかいてポイントをゲットしようと、中央小公園に集まった参加者は約200人。しまだ市っ歌り元気体操などで準備運動を行った後、市内の観光名所などを巡りました。ゴール後には、SL乗車券や商品券が当たる抽選会も行われ、会場には元気な声が響きました。

9月23日 | ミニ鉄道利用者20万人達成

中央公園のミニ鉄道の利用者が20万人に達し、記念イベントが行われました。

20万人目となったのは、市内阪本の^{まきたひろゆき}時田博幸さん、妻の^{あき}亜紀さん、長男の^{こうせい}晃成くん、長女の^{あかね}紅音ちゃんの一家。染谷市長とくす玉を割って祝ったあと、ミニ新幹線に乗り込み楽しみました。亜紀さんは「びっくりしました。いつも来ているので、うれしいです」と喜んでくれました。





9月1日 | 最高齢おめでとうございます

15日の「老人の日」を前に、市内最高齢で特別養護老人ホーム「とこは」（川根町家山）に入所する松島さとさん（105歳）を染谷市長が訪れ、長寿を祝いました。

祝福に集まった人たちに松島さんは「大勢の人に祝ってもらい、ありがとうございます」と元気に答えてくれました。この日は、同じく105歳で市内2番目の最高齢者の伊藤みささんにも、市長から花束などが贈られました。

9月20日 | 一糸乱れぬチームワーク

切山造成地内の茶園で「第3回乗用型茶摘採競技大会」（市農業経営振興会O-CHA学研究部会主催）が開催されました。

1チーム3人1組で10チームが参加し、大勢の見学者と茶業関係者が見守りました。審査では「刈り跡・収穫袋の均一度・作業時間・運転操作・機械整備」などをチェック。日ごろの作業で培った高い技術を披露すると、参加者の家族からも元気よい声援が送られていました。



（上）大池くん（左）「ストローアート」

しまだトピックス

子どもたちの溢れるアイデア



市内の子どもたちが、ものづくりの豊かな発想を競う「第28回島田市小中学生アイディア工作展」（島田異業種交流会主催）の表彰式が9月19日にプラザおおりで行われました。22の小中学校から96点が寄せられ、審査員による審査と会場を訪れた一般投票の結果、柴犬の顔を色とりどりのストローで表現した大池丈くん（初倉南小5年）の作品が市長賞に選ばれました。